

日本共産党

天王台後援会ニュース



〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉 〈部内資料〉

住所 270-1138 我孫子市下ヶ戸1825-19-103 電話 7184-2670, 発行責任者 中村良雄

国民・市民が監視される！

怖くて、「戦争反対」って言えない社会を狙う

「国家情報会議」設置法 成立

高市政権が出来てから7ヶ月が過ぎました。2月の突然の解散・総選挙で自民党は3分2以上の議席を確保。以来、着々と「国論を二分する政策」を進めています。

高市首相の動きは急速です。4月23日に政府のインテリジェンス(情報活動)機能を強化する「国家情報会議」設置法が、自民党、日本維新の会、中道改革連合、国民民主党、参政党、チームみらいなどの賛成多数で可決されました。

この法律の狙いは国民の政府による悪政に反対する動き・声を圧殺することです。戦争反対と言えない社会を作る、戦前の「治安維持法」に通じる恐ろしい法律ですが、衆院本会議で法案に反対したのは共産党とその他わずかの議員だけでした。

同法案により政府はスパイ活動(重要情報活動)の司令塔として、「国家情報会議」と「国家情報局」を設置し、外国からのスパイ活動に対処するとされています。

ここでの国によるスパイ活動(情報収集活動)の対象は、他国(敵基地攻撃能力の対象となる相手国)の軍事動向だけでありません。

情報収集対象は一般国民にも及び、市民活動の監視や人権侵害が拡大することが明らかになりました。さらに、政権による



世論誘導、政界工作などが行われる可能性も拡大します。

そもそも、特定の個人がスパイか普通の国民かは誰がどうやって決めるのか？

首相は「政府の政策に反対するデモに参加していることのみを理由に調査対象になることは想定しがたい」と説明しました。

つまり、調査対象になった時点で「普通の国民」ではないと判断されたということです。警察や検察が政府に都合が悪いと判断すれば、普通の国民ではなくなる(スパイと判断される)のです。

怖いですね。こんなことでいいのでしょうか。おお！こわい。

普通の国民は、こんなつもりで投票したつもりではなかったのですが。

(天王台後援会会長 中村良雄)

「Q&A 戦争への道をどう止め、平和をどう作るか」

4月11日 日本民主青年同盟の主催の学習会 講師は志位和夫さん

- ★若い世代からの28の質問に答える形で3時間近くに及んだ学習会となりました。
- ★党本部から全国中継され、ユーチューブ視聴回数は2万8千回（15日現在）にも。学習会に参加した方から感想を寄せていただきました。

これからを担う世代として考える平和のあり方

志位和夫議長が日本民主青年同盟の学習会で講演を行ったことを受け、その内容と意義について改めて考た。講演では、現在の国際情勢を踏まえながら、戦争への流れをいかに止めるか、そして平和をどのように築いていくかという大きな課題が語られていた。近年、世界各地で緊張が高まり、日本国内でも安全保障や防衛の在り方をめぐる議論が活発化している。その中で、力による抑止だけに依拠するのではなく、対話と外交によって問題解決を図る重要性が強調されていた点は、現実の政治課題と深く結びついていると感じた。理念的な主張にとどまらず、具体的な政策や歴史的経緯を踏まえた説明がなされていたことも印象的である。また、若い世代に対して直接語りかける場としてこのような講演が行われていること自体に大きな意味があると感じた。政治は決して一部の専門家だけのものではなく、日々の生活や将来に直結するものである以上、早い段階から関心を持ち、自ら考える機会が提供されることは重要である。質疑応答を通じて双方向のやり取りが行われていた点も、単なる一方向の情報提供にとどまらない価値を生んでいたのではないかと。さらに、どのような立場の議論であっても、多角的に検討し、自分自身の視点で吟味していく姿勢が求められることも改めて認識した。異なる意見に触れることで理解が深まり、より現実的で持続可能な解決策が見えてくるはずである。今回の講演を通じて、平和や安全保障といったテーマを自分ごととして捉え続けることの重要性を再確認した。今後も現実の課題に向き合いながら、冷静で建設的な議論を重ねていく必要があると感じている。（青山台 Y I 20代）

4月29日 我孫子市九条の会のよびかけによる

「平和憲法を守るアクション」



100人を超える人が手賀沼公園平和の記念碑前に集まりました。

1時間に17人の人が、平和への思いを話しました。戦争体験のある人や、若い人の発言もあり、風船やシャボン玉、色とりどりのプラカードやゼッケンも見られました。SNSを見た市外からの参加者もいて、平和への熱い願いが集まった集会でした。これからも声を上げ、また集まろうという元気の出る集会でした。（天王台 中川）

これ以上、いのちを脅かさないで！

OTC 類似薬保険はずしをやめて！

OTC類似薬の保険外しを26年度中に実施できるよう、健康保険法改定案が審議されています。医療機関で処方された薬に類似の市販薬がある場合、「特別料金」として薬剤費の4分の1（25%）を公的医療保険から外し、自己負担にします。残りの4分の3は、保険給付の対象で非課税ですが、自己負担分には消費税10%がかかります。

処方箋 1000 円の薬剤費(3 割負担の場合)

現在	自己負担	300 円
改定案	自己負担	500 円
内訳	特別料金	$1000 \times 0.25 = 250$ 円
	消費税	$250 \times 0.1 = 25$ 円
	保険患者負担金	$750 \times 0.3 = 225$ 円

「医療費4兆円削減」を目指す高市政権は、OTC類似薬の保険外しによって、1兆円の削減を狙っています。政府は、「受診せずに市販薬を利用している患者との公平性」を理由に挙げ、OTC類似薬全てを保険から外す意気込みでしたが、慢性疾患で薬が欠かせない方々からの切実な声、保険医団体などからの抗議などで、薬剤費の4分の1を「特別料金」（自己負担）と決めました。対象となる77成分（約1100品目）は、皮膚保湿剤、痛み止め、アレルギー性疾患治療剤など、日常診療で広く処方されている薬剤で、多くの患者にとって負担が大幅に増えることとなります。

国民皆保険制度のもとで、必要な診療を受け、処方された薬剤が全て保険適用になることが当たり前でした。お金のある無しで、医療に差別を持ち込むことにならないように、当たりの医療制度を求めて声を上げていきましょう。（青山 田中なつみ）

(OTC 類似薬とは、医師の処方が必要な医療用医薬品でありながら、成分や効能が市販の OTC 医薬品と類似している薬を指します。OTC は、英語の "Over The Counter" (オーバー・ザ・カウンター) の略称です。)

4月24日 我孫子駅北口のペンライト集会

戦争はいや！ 憲法9条変えるな！ inあびこ

—国会まではいけない、でも気持ちを表したい—

思い思いのプラカードや、色とりどりのペンライト、賑やかな集会でした。「戦争はいやだ」「トランプアメリカ大統領のイラン攻撃は許せない。」など。大きなプラスターを持った人もいました。知らない人同士、気持ちは同じという集まりは今までにないものでした。



「平和憲法を守れ」の一点で集まった60人ほどの我孫子市民。特に、ふざけながらも聞き入り質問してくる高校生たち。写真にも一緒に収まり、「また会いましょう」と言ったら、「次はいつですか」と聞いてきた。この子たちを戦争なんかに行かせたくない、この思いがますます強くなった集会でした。（下ヶ戸 M. K）

日本共産党天王台後援会 “映画会”

「母べえ」

今は戦前の状況に似ていると、戦争を知っている方は言います。「戦争なんて起こらないよ」という人もいますが、国会の様子や世界の状況を見ると心配になります。山田洋次監督、吉永小百合主演の映画です。父が治安維持法で検挙され残された家族は？今の政治状況を考えるヒントになるのではないのでしょうか。ご参加ください。

日時 **6月28日(日) 午後14時**

会場 **近隣センターこもれび ホール**

会費 **無料** スリッパ持参ください



核兵器禁止条約を力に、日本の条約参加実現を目指す

2026年国民平和大行進我孫子コース

行進日 **7月25日(土)**

9時50分 JR我孫子駅南口イトーヨーカドー隣 **南口東公園集合**

10時20分 出発時間

10時40分 手賀沼公園到着

11時10分 解散

原水爆禁止国民平和大行進の一步は戦争も核兵器もない世界をつくるための一步です。天王台地域の皆さん短い距離を一緒に歩きませんか！元気に行進しましょう！



主催 原水爆禁止国民平和大行進我孫子実行委員会

連絡先 加藤年史 7189-1781

天王台地区 連絡先 中村良雄 090-3964-3111